

## 1 圏域概要

### （1）圏域の背景・現状

- 関門海峡という共通の財産を持つ山口県下関市と福岡県北九州市は、互いに独自の経済、文化、歴史的特長をもった都市である。
- 両市の交流・連携の歴史は古く、現在も約1万人/日の市民が往来しており、行政・民間・市民レベルの連携が進んでいる。
- 両市は、アジアのゲートウェイとして、また本州と九州の結節点として、交通・物流の要衝にあり、今後さらに、重要な位置を占める可能性を有している。
- 今後、両市が今まで以上に連携して、地域の潜在力を十分発揮することが、活力ある関門地域を創生するために、必要となっている。

### （2）圏域での取り組み

- ◎市民交流における連携
  - 関門海峡花火大会
  - 両市で開催するマラソン大会における連携 など
- ◎経済活動における連携
  - 関門海峡観光推進協議会
  - 東アジア経済交流推進機構 など
- ◎教育文化活動における連携
  - 関門地域共同研究
  - 大学コンソーシアム関門 など
- ◎交通環境における連携
  - 下関北九州道路の早期実現に向けた取組
  - 関門シティ電車運行実現期成同盟会
- ◎行政間における連携
  - 関門地域行政連絡会議
  - 両市職員の相互派遣 など
- ◎生活関連機能サービスにおける連携
  - 高齢者の公共施設相互利用
  - 関門トンネル水道連絡管事業 など

## 2 新たな広域連携事業の取り組み状況

### （1）圏域全体の経済成長のけん引

- ア. 官民連携による関門地域の経済発展へ向けた検討・実施
  - ①「関門地域経済戦略会議」の開催
    - 関門地域の経済成長の方策に関する目標像や基本方針等について、意見の取りまとめ
  - イ. 関門地域連携による観光客誘致
    - ①ICTを活用した訪日観光客の受入環境の整備
      - 関門地域の観光施設等への無料公衆無線LAN（Wi-Fi付自動販売機）設置による観光環境整備、及び外国語観光案内サイトへの誘導システムの制作
  - ウ. 関門連携による東アジア経済交流の推進
    - ①関門プロモーションの実施（モードツアー国際旅行博覧会へのブース出展）
      - 韓国で開催された国際旅行博覧会への関門連携でのブース出展
    - ②関門タイ語パンフレットの製作
      - バンコク国際観光展におけるブース出展にあたり、タイ語の関門地域の観光パンフレットを製作

### （2）高次の都市機能の集積

- ア. 関門エリア大学コンソーシアムの推進
  - ①「大学コンソーシアム関門」の今後の発展に向けた調査・研究
    - 大学コンソーシアム関門の今後の発展に向けた検討を行うための調査・研究を実施

### （3）圏域全体の生活関連サービスの向上

- ア. 関門地域全体の公共サービス等の研究
  - ①関門地域の公共施設・サービス等の調査・研究
    - 施設の状況や市民ニーズの把握及び相互利用予約システム構築の可能性に関する調査・研究を実施
  - イ. ICT分野の共同利用推進
    - ①地理空間情報システム（GIS）の広域的な共同利用に向けての検討
      - 「地理空間情報システム（GIS）共通プラットフォーム」に関する協議、勉強会の実施

## 3 関門地域における、今後の広域連携の進め方

- ◎関門地域の活性化のためには、両市が、より一層、連携を深めていく必要があり、モデル事業の成果を踏まえながら、取組の実施について引き続き検討を進める。
- ◎下関市、北九州市の両市は、「下関連携中枢都市圏」「北九州連携中枢都市圏」において、それぞれが拠点都市となる存在であるため、連携協約等に盛り込む内容について、まずはそれぞれの都市圏における取組を進め、下関市と北九州市による関門連携に関して連携中枢都市圏構想を活用することについては、その後、検討を進めていく。
- ◎関門連携は、地域が海峡で隔てられ、また、県境を越えた連携でもあり、更に両市が拠点都市であるといった、全国的にも珍しいケースであり、いわゆる「シティリージョン」の形成について先駆的な取組となる可能性を秘めている。このような観点からも、今後、関門地域の活力向上のための連携のあり方について検討を進める必要がある。